（第３種郵便物認可）　しんぶん　赤　旗　２０２２年３月１８日（金曜日）　【国　際】　（６）

ワールドリポート

# 気候対策は不十分

## スイスのシニア女性ら

## 〝猛暑は命の危険〟欧州人権裁に提訴

スイスで、国に抜本的な気候変動対策を取るよう求めて「おばあちゃん」たちが立ち上がりました。同国の高齢女性でつくる「気候を守るシニア女性の会」は、政府の不十分な気候変動対策が生存権を脅かしているとして、２０２０年10月、欧州人権裁判所に提訴しました。共同代表のエリザベス・シュターンさん（74）は「私たちが勝利すれば、人類全体の勝利につながるはずです」と語ります。（チューリヒ〈スイス〉＝桑野白馬）

エリザベス・シュターンさん（桑野白馬撮影）

会の結成は16年8月。きっかけは、オランダの環境団体「ウルゲンダ」の支援する８００人超の市民が、同国政府を相手に、温室効果ガス排出削減量が不十分だと訴訟を起こしたことでした。「政府の気候対策を司法で裁く。画期的だと思いました」（シュターンさん）

**欧州人権裁判所**　国際法史上初の人権保護のための裁判所として１９５９年に設置。欧州人権条約（53年9月発効）を実施する機関の一つ。裁判官は欧州評議会加盟国（47カ国）と同数。裁判管轄権は同条約の解釈と適用に関するすべての事件に及びます。

### 〝特に弱い集団〟

現在、会員は約２０００人。気候活動家や弁護士、主婦など幅広い分野の人が関わっていますが、会員が60代半ば以上の女性に限定されているのには理由があります。

03年に欧州を襲った熱波では約7万人が亡くなり、その大半が高齢女性でした。「高齢女性が気候変動に対して特に弱い集団だと示すことが必要なのです」

気候変動の国際的枠組み「パリ協定」が気温上昇を2度未満に抑えることを目標にするのに対し、スイス政府は、30年までに温室効果ガス排出量を１９９０年比で半減する目標を掲げています。「もっと野心的な目標を掲げなければ、（パリ協定の目標は）達成できません」

会は17年5月、政府が野心的な目標設定をするよう求めて提訴。しかし、連邦行政裁判所、最高裁判所とも訴えを棄却しました。パリ協定の目標期限はまだ先で「達成できないと言い切れない」との理由でした。

「政府の本気度に疑問を持った」シュターンさんらは、不十分な対策を是正するよう勧告してもらおうと、20年10月、フランス北東部ストラスブールにある欧州人権裁判所に提訴しました。

同裁判所は翌年3月、この訴訟を「優先的に扱う」と決定。同年10月には会員が現地に集い、「気候正義の実現を」と書いた横断幕を掲げ、訴訟内容をアピールしました。

2021年10月、仏ストラスブールの欧州人権裁判所前で「気候正義の実現を」と訴える会員（シュターンさん提供）

### 希望を持ち活動

シュターンさんが子どものころ、住んでいた東部バードラガッツでは、夏に3日連続で30度を超えた場合、子どもの健康を守るため学校は休みになりました。「今では30度をゆうに超え、35度以上に達する日もあります」

山の巨大な氷河は、温暖化の影響で溶けて無くなりました。「村が土砂崩れで消失する危険もある」と懸念を語ります。

現在は仲間と共に、学校や地域でのイベントで気候変動に関する講演もしています。「結論が出るのはまだ先ですが、大きな希望を持っています。今後も楽しく元気に活動を続けていきます」

---

15日、トルコ・イスタンブールで、ロシアの反戦ラッパーのコンサートを前にプラカードを掲げる人たち（ロイター）

ロシアの反戦ラッパー

# トルコで慈善コンサート

## 「誇らしい」と称賛の声

【イスタンブール＝ロイター】トルコの最大都市イスタンブールにあるクラブで15日、ラッパーのオクシミロン（Ｏｘｘｘｙｍｉｒｏｎ＝37、本名ミロン・フョードロフ）を一目見ようと多くのロシア人が列をなしました。オクシミロンはロシアのウクライナ侵攻に反対を表明してロシアのセレブ界をざわつかせました。

オクシミロンはロシアの侵攻を理由にモスクワとサンクトペテルブルクで予定していたコンサートを中止。侵攻は「大惨事で犯罪だ」と述べました。その後、「戦争に反対するロシア人」と銘打った慈善コンサートを続けて実施すると発表。収益はウクライナ難民支援に寄付されます。

イスタンブールでは、コンサートに訪れた４００人がロシア語で「戦争反対」を叫びながら、会場に案内されるのを待っていました。

「今、ロシアで反戦コンサートを開くのは不可能だ。ばかげたように聞こえるが、戦争に反対することは何もかも禁じられているからだ」―オクシミロンは先週、コンサートシリーズの初回をイスタンブールで開くと発表する動画で述べました。「すべて検閲される」

この日はチケットが完売。会場の入り口には転売してもらおうと多くの人が集まっていました。演奏はソーシャルメディアを通じて生配信され、約4万人が視聴しました。

ロシア出身でトルコ在住1年というアントニーナ・ジガンシーナさんは「あの人は特別。とても勇気がある。ロシアで声を上げるのは恐ろしいから」といいます。ロシア人とウクライナ人の両親から生まれたカテリーナ・オルカンさんは「私は半分ウクライナ人だから、今起きていることに反対する人がいるのを知って誇らしい」

オクシミロンが称賛されるのは音楽と共に、その勇気ある態度です。モスクワ地域から来たエブゲニーさんは「オクシミロンの音楽はあまり好きなジャンルではないが、政治的態度は尊敬する」と語りました。

モスクワ出身のフィリップ・チェフノフさんもオクシミロンを称賛するのは、政治的に微妙な話題に固く口を閉ざしたり、ただ政府への支持を表明したりするほかのロシア著名人とは違うからだと言います。

「ロシアの著名人に戦争反対を主張する人はほとんどいない。それをやっているというだけでオクシミロンはかっこいいが、コンサートの収益をウクライナ救済に使うというのでますますかっこいい」

---

# ウクライナ国民に連帯

## 米名門歌劇場がコンサート

### 全世界に発信

米ニューヨークの名門オペラハウス「メトロポリタン歌劇場」で14日、ウクライナに連帯する慈善コンサートが開かれました。同国出身で2週間前に同歌劇場でデビューしたばかりのバス・バリトン歌手ウラディスラフ・ブヤルスキー氏（24）らが出演。音声は全世界に発信され、ウクライナの国営放送も生中継しました。

ニューヨーク・タイムズ紙など米メディアによると、演奏会は7日、同歌劇団が開催を呼び掛け、３６００席分、1枚25㌦（約２９５０円）のチケットは販売開始10分で完売。その後もオンラインで寄付が集まりました。

歌劇場の正面は青と黄のウクライナ国旗が掲げられた上にライトアップ。招待された同国のキスリツァ国連大使が紹介されると、会場からひときわ大きな拍手が上がりました。

歌劇団のピーター・ゲルブ総裁が「歌劇団は誇りをもってウクライナ国民に連帯する。あれほどの不正や破壊、死に直面しながら力強く勇敢に振る舞っている」とあいさつしました。ゲルブ氏は前週、ロシア出身のソプラノ歌手がプーチン大統領を非難しないとして、今シーズンと来シーズンの降板を発表していました。

コンサートはブヤルスキー氏と歌劇場合唱団によるウクライナ国歌で開幕。同国の現代作曲家バレンティン・シルベストロフ氏が２０１４年の同国の政変をきっかけに作曲した小曲「ウクライナのための祈り」と続きました。

米作曲家サミュエル・バーバーの「弦楽のためのアダージョ」、リヒャルト・シュトラウスの「四つの最後の歌」などが披露され、最後はベートーベン作曲の交響曲第9番（合唱）の第4楽章。終演後は拍手がたえませんでした。（山崎伸治）

---

## 反戦訴えたＴＶスタッフ

# ロシア国民に「目を開いて」

ロシア政府系テレビの番組で「戦争反対」のメッセージを掲げた女性スタッフのマリーナ・オフシャンニコワさんが16日、ロイター通信のインタビューに応じ、自身の安全への懸念を吐露するとともに、政府の宣伝にだまされないよう「ロシア国民に目を開いてほしい」と訴えました。騒動後、オフシャンニコワさんがインタビューに応じたのは初めてです。

オフシャンニコワさんは「自分の行動を（正しいと）信じているが、今は事の重大さを理解し、自分の安全をとても心配している」と告白。ロシア国外へ逃れるつもりはなく、刑事罰に問われないよう望むと語りました。

また、「自分が英雄だとは全く思わないが、人々には目を開いてほしい」と主張。行動の目的は戦争反対を訴えるだけでなく、ロシア国民に「政治宣伝に耳を貸さず、情報を見分けるやり方を学び、国営テレビだけでなく他の情報源を見つけて」というメッセージを直接送ることだったと説明しました。（ロイター＝時事）

マリーナ・オフシャンニコワさん（ロイター）

---

## ロシアのプリマ　戦争反対し辞職

### 「魂をこめ」と声明

【アムステルダム＝ロイター】ロシアによるウクライナ侵略に反対の声を上げてきたロシアのプリマバレリーナ、オリガ・スミルノバ氏（30）が、ボリショイバレエ団を辞職し、オランダ国立バレエ団に参加することになりました。

オランダ国立バレエ団が16日発表したもので、同バレエ団のテッド・ブランドセン代表は声明で、「オランダのわがバレエ団に彼女が加入することは光栄なことだ。たとえこの移籍をもたらしたのがとてつもなく悲しい事態だったとしても」と述べました。

スミルノバ氏は今月、ロシアを出国。同氏はインスタグラムで発表した声明で、「私の魂のすべてをこめて戦争に反対だ」と述べています。

声明は「私がロシアを恥じることがあるとは一度も考えたことがなかった。私は常に、才能あるロシア民族や、文化・運動分野での成果を誇らしく思ってきた。しかし今、私は一線を画されたと感じる」と述べています。

---

おはよう　ニュース問答

# ロシアに流れる覇権主義は根深いね

**のぼる**　ロシアのウクライナ侵略は許せない。大国の暴走だ。

**敬三**　じつはロシアの覇権主義はいまに始まったことじゃない。ロシア帝国やソ連のスターリン時代、そしていまのプーチン政権にいたるまで、ロシアには脈々と流れる歴史的な覇権主義の根深さがある。

**のぼる**　ソ連が覇権主義を世界にさらけだしたのがチェコスロバキア侵略（１９６８年）だ。その後のアフガニスタン侵略（79年）も人民の主権と独立を踏みにじる蛮行だった。

**敬三**　ソ連崩壊後も、グルジア侵攻（２００８年）やクリミア併合（14年）など、旧ソ連圏の諸国を「勢力圏」とみなした侵略が繰り返されてきた。

### 日ロ領土問題は

**のぼる**　日本とロシアの関係で気になるのは日ロ領土問題だね。

**敬三**　スターリンは終戦直後にソ連軍を侵攻させ、千島や歯舞群島、色丹島を軍事占領した。

**のぼる**　ロシア側は「大戦の結果を受け入れろ」と言っているけど、千島占領は、第2次世界大戦の原則である「領土不拡大」に違反している。米英ソが密約した戦後処理の不公正をただす交渉こそ必要だ。

**敬三**　でも日本政府は、サンフランシスコ平和条約（１９５１年）で千島列島の放棄を宣言して、その後も「北方領土」4島だけの返還を求める国際的に通用しない論理で外交を続けている。

**のぼる**　安倍政権の時には「4島返還」さえ投げ捨て、「2島返還」で終わらせようとする始末だ。8項目の「日ロ経済協力プラン」にも合意してロシア・プーチンにすり寄った。

**敬三**　現政権もロシアの覇権主義に及び腰だ。岸田首相はこの期に及んで、日ロ経済協力を維持しようとしている。

**のぼる**　予算案に盛り込まれた関連予算についても「修正は考えていない」と言っている。

### 経済協力中止を

**敬三**　世界がロシアに経済制裁をしている時に、ロシアとの経済協力を進めるなんて誰も納得できない。経済協力は中止すべきだ。

**のぼる**　いま世界中でロシアの侵略を非難する声が上がっている。日本政府は、この国際世論と連帯して、ロシアの覇権主義と厳しくたたかう立場で対応してほしい。

〔２０２２・３・18（金）〕

ロシアのウクライナへの侵略に抗議する人たち＝2月26日、東京・渋谷駅前

---

# 曙光へテイクオフ

井上　文夫
挿絵　百瀬　邦孝

－74－

第9章　新たなる一歩（9）

大熊は今は何をしているのだろうか、なぜ旋盤工を辞めたのだろうか。

「これから歓談の時間に入ります。窓際にはたくさんの料理が並んでいますので、召し上がってください」

水森の声に参加者たちが一斉に料理コーナーに押し寄せた。しかし3人は足を運べなかった。ビールを注ぎ足すのも気がひけた。まもなく大熊が皿に鶏の空揚げやローストビーフなどをやま盛りにして持ってきた。そして取り皿と箸を3人に配った。

「一緒に食べましょう。なくなったら好きなものを取りに行ってくださいね」

大熊が勧めた。大熊はローストビーフを口に入れた。3人に気を配りながらも、その振る舞いは素朴で大胆だった。それが3人の緊張をほぐした。

「ではいただきます」

北藤は取り皿に空揚げ2片とローストビーフ1枚を入れた。芳賀と宝田も少しだけ取り皿に入れた。

「先ほどの話の続きですが、実は4年前に皆さんと同じようにクビ切りにあいました」

3人がびっくりして大熊を見つめた。

「ある大手重機メーカーの下請け会社で働いていたのですが、残業代が支払われないなど労働条件が劣悪で労働組合をつくろうと水面下で動いていました。それを察知した会社がありもしないミスをでっち上げてクビにしたのです」

大熊は悔しそうな表情で言葉を継いだ。

「子どもが小さいので迷いましたが保育士の妻が後押ししてくれたので裁判に踏み切りました。裁判の過程で大手重機メーカーが、僕を解雇しなければ今後の発注を取り消すという脅しをかけた事実が明らかになりました。しかし地裁は会社の言い分を丸ごと認めたために、現在控訴してたたかっています」

「お一人で4年間もたたかっているのですか」

芳賀が聞いた。

「1人ではありません。C区労協の人たちや機械金属の労働組合の仲間たちに支えてもらっています」

大熊は笑顔になって言った。

北藤には4年という歳月が、とてつもなく長くてつらい日々の連続のように思えた。しかし大熊の言動から垣間見えるのは、楽天性とおおらかさだった。

「大熊さんのお話には勇気をもらいました」

宝田が大熊を見て言った。